

研究実施のお知らせ

国保旭中央病院PET画像診断センターでは、半導体装置を用いたFDG-PET/CT検査での体格の違いによるPETの画質の変化を検討する下記臨床研究を行っています。この研究では、2019年9月1日から2022年3月31日までの期間において、当院でFDG-PET/CT検査を受けた被検者さんの診療情報を使用させていただきます。PET/CT検査を受けた方は全員が対象となる研究ですが、ご自身の診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合は解析対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも受検者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

研究課題名	高BMI患者に対するFDG-PET/CT検査における最適な再構成条件の模索に関する検討
研究代表者	診療技術局放射線科 村松 直人
研究期間	当院倫理審査委員会承認日 ～ 2025年3月31日
研究の対象	以下に該当する方を研究対象とします。 以下の期間において当院でFDG-PET/CT検査を受けた方のうち、 1) 年齢が20歳以上の患者さん 2) BMIが30以上の患者さん 対象受診期間:2019年9月1日～2022年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> その他 (FDG-PET/CT画像)
研究目的・意義	がん診療において ¹⁸ F-FDGを用いたPET検査は病期診断や再発診断、そして治療効果判定に至るまで有用性が認識され、治療方針の決定に重要な画像診断ですが、その画質は患者さんの体格に大きな影響を受けることが知られており、特に高体重/高BMIの患者さんにおいては適正な画像再構成条件を設定しないと、画像ノイズが増悪して評価困難や誤診の原因となる恐れがあります。 本研究では高BMIの患者さんに対して異なる再構成条件を設定した画像データを複数用意し、各種評価を行って画質への影響を検証するとともに、高BMI患者さんにおける最適な再構成条件を模索します。
研究の方法	この研究は過去に実施されたFDG-PET/CT検査を振り返って評価、解析するものであり、研究のために被検者の皆様に新たにさせていただくことはありません。 FDG-PET/CTの画像上で画像診断医が症例ごとに視覚評価を行い、見た目ではどれくらいの画質なのか観察します。また、SUVやSNR、SBRなど、画

	<p>質や集積程度を表す客観的な指標を複数計測し、再構成条件の違いによって、どのくらい違いが出るのかを把握します。ノイズと病変の区別が困難な所見の振り分けを行うのに最も適した再構成条件が何か、他の画像検査との比較によって検討します。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>研究で発生したデータ類はPET 画像診断センター内の施錠可能な場所に保管し、外部への持ち出しは行いません。病院長に研究終了を報告してから5年間経過したのち、適切に破棄いたします。</p> <p>解析は匿名化したうえで実施し、本研究参加者やその家族に危険や不利益が及ぶ可能性はありません。被検者さんから得られたデータは集積して、医学教育、医学研究発表、医学論文にて公表する予定ですが、個人が特定されることはなく、プライバシーは保護されます。</p> <p>今回収集する情報は、日常診療で実施されたデータを用いる観察研究です。匿名化(特定の個人を識別可)したうえでデータを収集し、解析をおこなうため、新たに同意の取得は行いません。なお、本研究に関してはホームページに掲示することで周知を行います。本研究への質問や参加拒否をされる方は下記に連絡下さい。参加を拒否された場合でも、不利益を被ることは一切ありません。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>旭中央病院における研究責任者 診療技術局放射線科 村松 直人</p> <p>臨床研究支援センター [電話] (平日 8:30~17:15) 0479-63-8111 (代表)</p>